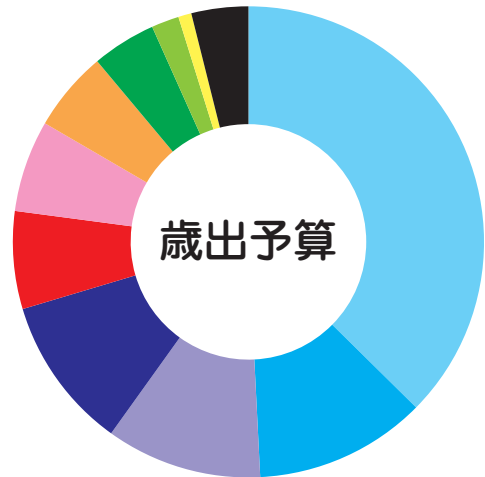


# 平成31年(2019年)度予算の使い道は？

## 予算特別委員会で審査しました



市税	95億3,166万円	(31.0%)
地方交付税	58億円	(18.9%)
国庫支出金	41億9,562万2千円	(13.6%)
市債	33億1,800万円	(10.8%)
県支出金	25億8,733万5千円	(8.4%)
繰入金	15億8,094万6千円	(5.1%)
地方消費税交付金	13億2,666万8千円	(4.3%)
諸収入	7億5,483万6千円	(2.5%)
その他	16億7,493万3千円	(5.4%)

民生費	115億3,376千円1千円	(37.4%)
教育費	36億1,713万円	(11.8%)
総務費	32億8,512万5千円	(10.7%)
公債費	32億2,368万9千円	(10.5%)
衛生費	20億5,410万6千円	(6.7%)
農林水産業費	19億3,214万4千円	(6.3%)
土木費	17億82万2千円	(5.5%)
消防費	13億4,142万4千円	(4.4%)
商工費	5億9,367万5千円	(1.9%)
議会費	2億7,650万1千円	(0.9%)
その他	12億1,162万3千円	(3.9%)

一般会計合計 307億7,000万円

**第3章 健康・福祉**

- 子育て世帯の費用負担の軽減 676,021千円
- ガン検診・健康診査の勧奨、保健指導の強化 64,897千円

**第2章 生活環境**

- 災害対策の強化(防災無線デジタル化実施設計など) 27,058千円
- 消防団の支援 72,967千円

**第1章 都市基盤**

- 公共交通の充実(バス・デマンドタクシー) 245,527千円
- 畜産試験場跡地の利活用促進 209,891千円

今定期例会に、一般会計・特別会計・企業会計を合わせた、平成31年(2019年)度予算が市長から提案されました。

はじめに、予算の主な使い道についてお知らせいたします。

## 重要事務事業2019 7分野と主な事業

**第7章 自治体運営**

- 自主財源の確保(市税等収納対策強化など) 66,472千円
- 市役所本庁舎大規模改修の実施 311,636千円

**第6章 地域づくり**

- 移住・定住促進(移住PR・移住支援金など) 32,902千円
- 生涯活躍のまち構想の推進(笠間版 CCRC) 13,000千円

**第5章 教育・文化**

- 学力向上対策の強化 147,626千円
- 笠間城跡の史跡化の推進 16,578千円

**第4章 産業**

- 鳥獣被害防止活動の推進 20,660千円
- 観光戦略の推進(インバウンド観光・かさまコンシェルジュ) 21,625千円



平成31年(2019年)度会計別予算の状況 (千円)

会計名		予算額	会計名	予算額
一般会計		30,770,000	病院事業会計	1,197,374
特別会計	国民健康保険特別会計	7,601,000	水道事業会計	2,197,000
	後期高齢者医療特別会計	844,000	工業用水道事業会計	70,615
	介護保険特別会計	6,532,000	公共下水道事業特別会計	3,877,936
	介護サービス事業特別会計	22,000	合計	53,923,925
	農業集落排水事業特別会計	812,000	【参考】平成30年度予算合計額	52,613,976

予算特別委員会における審査の経過

議会は予算特別委員会を設置し、3月6日～8日に審査を行いました。審査の過程での主な質疑、答弁および意見内容について紹介します。

**問** 拡充する国際化戦略事業における台湾交流事業の内容について【議案第52号】(秘書課所管)

**答** 予算は現地事務所借り上げ料、広告料、現地スタッフ派遣費用等が主である。活動としては、台北市と連携しながら現地の旅行会社に対して積極的にPRなどを行い、インバウンド政策を推進していく。

**問** デマンド交通システム運行管理委託料の内訳とその運行意義について【議案第52号】(企画政策課所管)

**答** 市内4社のタクシー事業者により年間約290日運行するデマンドタクシー10台分の費用約6,000万円およびそれに伴う配車システムとオペレーターの人件費約490万円である。高齢層を主とした交通弱者の外出手段の確保を目的とし、運行開始から10年が経過した現在では、通常の公共交通と考えられるほどの利用頻度になっている。

**問** がん検診等委託料の内容について、特別任意予防接種補助金および県外定期予防接種補助金の内容は【議案第52号】(健康増進課所管)

**答** 特別任意予防接種補助金および県外定期予防接種補助金については、骨髄移植等の理由により、定期予防接種ができなかった方に対するもので、3名分を計上している。また、県外定期予防接種補助金については、里帰り出産等県外で接種した場合に償還払いをするもので、ワクチンにより接種回数は異なるが、概ね10名分を計上している。

**問** 移住支援金について、2件分を計上する根拠とそれ以上の申請があった場合の対応は【議案第52号】(まちづくり推進課所管)

**答** 国・県から笠岡市に提示された件数は8件であるが、制度開始初年度のため2件としており、それを超えた場合は補正予算での対応を考えている。

**問** 埋蔵文化財緊急調査費国库補助金で行う笠岡城の調査について、今後の計画は【議案第52号】(生涯学習課所管)

**答** 平成31年(2019年)度は詳細調査に入り、図化範囲や縄張り範囲の決定を行う。5年後を目途に調査報告書を作成し、その結果を受けて県・国による史跡指定を目指した取り組みを行う。

**問** 新たに制定される「笠岡市自転車安全利用に関する条例」に関する予算措置と周知方法について【議案第52号】(市民活動課所管)

**答** のぼり旗等の消耗品やポスター等の印刷製本費を計上し、これらを活用して周知していくが、さつに小中学生・高齢者等には交通安全教室などで、また、各種団体の総会等でも周知・啓発を図っていききたい。

**問** 水道普及率と配水量の今後の見通しについて【議案第59号】(水道課所管)

**答** 普及率は平成29年度決算実績で82.39%であり、今後も普及率の向上を目指し、加入促進に努めていく。配水量の見通しについては、ここ数年、友部地区においての開発などがあり微増で推移してきたが、今後は下降すると予想している。

**問** 国から交付される森林環境譲与税はどのような事業にあてるのか【議案第52号】(農政課所管)

**答** 担い手等の不足により、森林の経営管理が行き届かない中、個人にかわって市が森林管理を行う事業に充て、森林組合との連携により実施するものである。

3日間にわたり執行部との間で活発な質疑応答が交わされ、最終日に討論、採決を行い、すべての会計を原案のとおり可決しました。

定例会最終日(3月18日)の本会議で、村上委員長が審査結果を報告し、採決の結果、平成31年(2019年)度の全ての予算を可決しました。

【予算特別委員会 委員】

委員長	村上寿之
副委員長	田村幸子
委員	坂本奈央子
委員	安見貴志
委員	益子康子
委員	田村泰之
委員	大貫千尋
委員	小江一三
委員	石崎勝三